



草の根

第42回

No 19

新日本婦人の会 浜松支部
〒430-0907
浜松市中区上島3-33-6
TEL&fax 464-9881

女性の願いで行動、来年創立60年を迎える国連NGOです あなたも新婦人に

11・19はビッグデー！ 班から行動 仲間を迎えました



あざれあ班

一開張りで会員が一人入会。
協働センターの契約職員さん
が小組活動に興味を持って
くれて体験し、一緒にやり
たいと仲間。

しあわせ班

11月のビッグデー期間に
何とか一部増やしたいと
地区労連にくる知り合い
に声をかけ、「女性の視点で
わかりやすい記事が読めるよ」
と勧めて読者に。

母子草班

他の集会のお誘いチラシと
ともに、新婦人しんぶんを
渡した方は、水道問題の
つどいに参加してくれた人
感想を聞こうと思ってます

11月の仲間づくりでは、
佐藤町へのポスティング行動をはじめ複
数の班が仲間づくりに挑戦しました。
班からの行動を紹介します。

ポプラ班

選挙で対話した方が、何と
班長の知り合いとわかって
声かけて、一部増えました。

神無月班

しんぶんタイムで、「この内容
なら座に見せてみよう」「友人
に見せたら」と二人が宣伝紙
を持ち帰り。みんなの意識が
少しづつ変化。

竹の子班

職場の女性部の次期母親実行
委員を引き受けてくれた二人に
「記事が参考になるよ」と
声をかけ読者に迎えました

さくら班

班会の中で仲間づくり
の話を子ども達を
誘おうと宣伝紙を持ち
帰ってもらった。

かすみ草班

11月の仲間づくりの中で
何とか増やしたいと近所の
知り合いに宣伝紙を持って
回ってみました。
残念ながら良い結果には
結びつきませんでした。

のぎく班

班会の中で仲間づくりを
話題に、「ゲストを誘おう」
会員の一人が知り合いを
お誘い。会員は無理だけど
「しんぶんならいいよ」と
一部増えました。

神無月班 鈴木美智子
11月28日(日)労働会館3
Fにて、オンライン集会に
参加しました。班活動リ
ード発言という任務を賜り、
「小組集という仲間づくり、
班ニュースの原稿を会員で
分担している」というタイ
トルで浜松支部を代表して
発言させていただきました
オンラインでの発言は初
めての体験でも緊張し
用意した原稿を読み上げる
ことに終始しました。県内
から6支部のリード発言が
あり、どこも会員の高齢化
が進み活動の大変さがあり
ますが、それぞれの工夫が
なされる地域の活動の要と
して新婦人の仲間が居ること
に励まされました。

質疑応答で、神無月班の
班ニュースがとてつくり
ティが高いけれど、継続し
て発行している秘訣を問
われ、そう評価していた
けれど、仲間と一緒に
できたことはとても嬉しいこ
とで、改めて神無月班の仲
間の力の凄さを実感しまし
た。一人では何もできな
いけれど、仲間と一緒に
活動できることを再認識

県本部主催 仲間づくり班活動交流会に参加して

できた集会でした。
先日、磐田に住む知人か
ら、「オンラインで美智子
さんの発言を聞きたいよ」と
連絡をいただきました。会
場を顔合わせなくても、
繋がっていた
んです。



母子草班 伊藤里美
リモート会議でしたが、
県内の各地域の活動を知
ることができました。
私は、「学校ゆるカフエ」
に関わってきていますが、
県内でも「子育てカフエ」
を毎月開催しているとの報
告が2か所からあり、浜松
でも継続していくことの
大切さを感じました。



新婦人と農民連の産直運動は30年を迎えました。浜松支部は産直部が中心になり、会員さんへの「安心・安全な農産物を」届けています。事務所での直売所「木曜日」にもお手伝いしています。

産直運動は「安全・安心な地産地消の農産物をずっと食べたい」という私たち会員の思いと「食の安全と、日本の農業を守りたい」との生産者の思いから始まりました。その実務と配達作業(一部の会員さんの協力を得て)を行っています。また週一回の木曜市の運営もボランティアの力を借りて続けています。2020年12月に野党の反対を押し切り種苗法が可決されたことを受け細江農民連の堀越氏を講師に「種苗法」を学習し、7月はブルーベリー狩りを実施、約20人の親子が楽しみました。10月は農民連の事務局長山本さんと懇談会を開き、産直野菜についての今後を話し合いました。産直に興味を持っていただけるよう今後も発信していきたいと思えます。

しあわせ班 布施晴美

子どもが生まれてすぐ地域の主婦の先輩会員さんからお誘いを受け入会し現在に至っています。いつも子どもを連れて班会に参加していました。子育ての悩みを話し合ったり、学習したり、班で料理教室なども開催したり、様々なことを語りあい、先輩たちに教えてもらいました。主婦とともに自分が成長してきたなど実感しています。現在、県の常任委員、支部の事務局長と産直部長をしています。



部員の紹介



すくすく班 清水伸江

「私たちの日々の食卓に上がる農産物が」すくすく班の会員です。産直の発注、会計、配達を担当しています。30年程前から配達をするようになり、4年前から発注、会計も担当するようになりました。今できる範囲で頑張っていますが、人手が足りないのでお手伝いできる人がいかなと思っています

うみがめ班 久米恵子

22歳で養護施設「清明寮」へ住み込みで就職しました。断続勤務でしたが先輩男性職員の結婚を機に勤務形態が通し勤務となり習い事や趣味などで外出できるようになりました。その後合唱団美樹に入り、今の夫と知り合い、仲間たちに会費制の結婚式を挙げてもらいました。舞阪うみがめ班は三男が通っていた舞阪保育園の同じクラスお母さん達と結成し、現在に至っています。在職中は休みがとりにくく全国母親大会の参加はあきらめていたもので、あい退職してからは勉強半分遊び半分ですが、毎年楽しみにしています。

しまの花だより

すみれ班 近藤しま

わが雑草園も宿根草類を刈り取ると少しサッパリ感が出ました。水仙や椿が咲き始め冬色に。地面を見れば都忘れが出番を待っているという顔をしています。そう植物はもう春の準備ができています。今、悩ましいのは寒さに弱い鉢物たち。大事なものは室内に取り混みましたがまだまだ他にも。

西部清掃工場の見学に参加して

くらし部 中村里美

11月18日主婦から8人を含む21名の参加で西部清掃工場の見学に行きました。廃熱を利用し発電して売電。更に隣接するとびおに温水熱気を送ってします。ごみを燃やし、ミックスメタルやアスファルト舗装の砂、精製塩も造っています。(凍結防止に直接まく等)工場からの排出物は常に監視され、基準以下で排出されていました。ごみを減らすことは環境を守るだけでなく、処理費用も抑えられ、物を大切にすることと思いました。雑誌回収だけでなく、「紙」マークのあるアイスクリーム、ヨーグルト、紙コップ(実証実験中)もここで回収しダンボールに再生しています。プラ容器を減らし細かく分別してごみを減らすよう私たちの意識を互いに高めたいものです。

事務局からのお知らせ

☆ 冬休み 12月29日(水)～1月5日(水)

☆ しんぶんは合併号です。

1月1日号・1月8日号を合併して

12月20日の週に届きます。

年始は1月15日号からとなります。

第66回日本母親大会in沖縄が開催!

浜松支部からは24人がリモートで参加しました。感想をお届けします。

すみれ班 近藤しま

オンライン形式での大会、メカに弱い私にとってこういう形で参加できるということがありがたいです。仲間がいてこそできることだと思えました。全体会の仲山先生のお話は本当に一言も聞き逃さないぞという迫力を感じさせてくれました。感動をよびこみましたが、ただこの頃すぐ忘れてと言うか覚えられない私です。でも十分に理解したという感動は覚えています。心に響いた講演でした。本当にありがとうございました。クナグヤ、イクサノ、サチパイを心に大切にしまい込みました。